床板用スチールグレーチング

エコノミータイプ

CFL

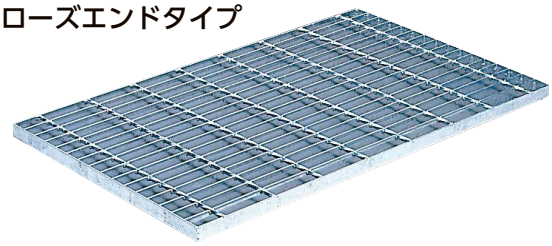
受注生産

ギザギザタイプ

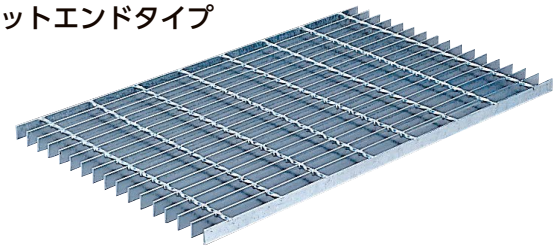
CXFL

受注生産

クローズエンドタイプ



カットエンドタイプ



〈単位：mm〉

	型式記号	ベアリングバー	ベアリングバーピッチ	質量(kg/m²) カットエンド	質量(kg/m²) クローズエンド	価格(円)
一般タイプ	CFL 319	FB19×3	30	17.2	18.2	別途見積り
	CFL 419	FB19×4.5	30	25.8	27.2	
	CFL 325	FB25×3	30	22.1	23.4	
	CFL 525	I-25×5×3	30	28.2	30.0	
	CFL 332	FB32×3	30	27.7	29.4	
	CFL 532	I-32×5×3	30	35.0	37.4	
	CFL 338	FB38×3	30	32.5	34.5	
	CFL 538	I-38×5×3	30	40.9	43.7	
	CFL 544	I-44×5×3	30	46.8	50.0	
ギザギザタイプ	CXFL 319	FB19×3	30	17.2	18.2	
	CXFL 419	FB19×4.5	30	25.8	27.2	
	CXFL 325	FB25×3	30	22.1	23.4	
	CXFL 525	I-25×5×3	30	28.2	30.0	
	CXFL 332	FB32×3	30	27.7	29.4	
	CXFL 532	I-32×5×3	30	35.0	37.4	
	CXFL 338	FB38×3	30	32.5	34.5	
	CXFL 538	I-38×5×3	30	40.9	43.7	
	CXFL 544	I-44×5×3	30	46.8	50.0	

■製品情報

●耐久性に優れ、しかも軽量
ベアリングバーとクロスバーを格子目状に電気圧接しておりますので、非常に耐久性に優れ軽量です。

●優れた安全性
ベアリングバーとクロスバーが一体化され、いずれの方向にでもスベリ止め効果が保たれます。

●換気採光が抜群
開口面積比率が高いCHUBUグレーチングは、作業環境づくりに最適です。

●施工が簡単
多目的に合わせた施工ができ、現場で簡単に取付、取外しができます。

●美観性
ベアリングバーとクロスバーの格子模様は工場、船舶などの床、階段などにマッチし、快適な作業空間が得られます。

●丈夫で長持ち
使用目的に応じたグレーチングが選択できます。また溶融亜鉛めっきや塗装の表面処理技術を生かし、耐久性に優れて極めて経済的です。

●本体は、クローズエンドとカットエンドがあります。

⚠CFL319・CXFL319の製品長さは、1000mm以下でご使用ください。

用途

●プラント工場、ビルディング　●各種発電所の床、階段
●海上石油基地、船舶　●橋梁、吊橋、鉄塔
●浄水場、洗車場、処理場

例 **C(X)FL 325**

床板用グレーチング記号
X：ギザギザタイプ

ベアリングバー高さ（25mm）

ベアリングバー厚み（3mm）

■ベアリングバー本数とグレーチング幅関係表

型式：C(X)FL 419、C(X)FL 525、C(X)FL 532、C(X)FL 538、C(X)FL 544

ベアリングバーの本数	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
グレーチングの幅(b)	185	215	245	275	305	335	365	395	425	455	485	515	545	575
ベアリングバーの本数	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
グレーチングの幅(b)	605	635	665	695	725	755	785	815	845	875	905	935	965	995

〈単位：mm〉

型式：C(X)FL 319、C(X)FL 325、C(X)FL 332、C(X)FL 338

ベアリングバーの本数	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
グレーチングの幅(b)	183	213	243	273	303	333	363	393	423	453	483	513	543	573
ベアリングバーの本数	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
グレーチングの幅(b)	603	633	663	693	723	753	783	813	843	873	903	933	963	993

〈単位：mm〉

■最大支間距離

荷重支間距離、ベアリングバー強度に合わせて最も経済的な型式を選定してください。

型式	断面係数 Zcm^3	慣性モーメント Icm^4	たわみ/スパン ≦ 1/500	たわみ/スパン ≦ 1/300	たわみ/スパン ≦ 1/200
C(X)FL 319	0.180	0.171	800	900	—
C(X)FL 419	0.271	0.257	900	1000	1200
C(X)FL 325	0.312	0.391	1000	1200	1400
C(X)FL 525	0.475	0.594	1200	1400	1600
C(X)FL 332	0.512	0.819	1300	1600	1800
C(X)FL 532	0.782	1.25	1500	1800	2100
C(X)FL 338	0.722	1.37	1600	1900	2100
C(X)FL 538	1.10	2.08	1800	2100	2500
C(X)FL 544	1.46	3.21	2100	2400	2800

〈単位：mm〉

※強度計算基準要項

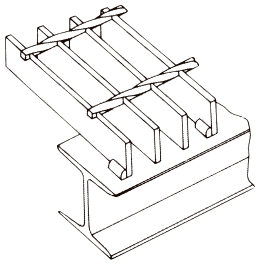
上表は両端自由支持したグレーチングに3.5KN/m²の等分布荷重（建築基準法施行令第85条）を載荷した場合のたわみ量を各支間に対して算出したものです。

詳細情報

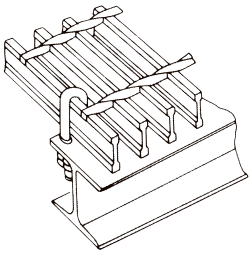
床板用スチールグレーチング

■取付方法

溶接式（固定）

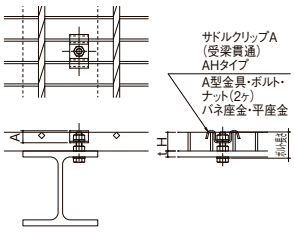


フック BT（取外し可能）



価格（円）	500

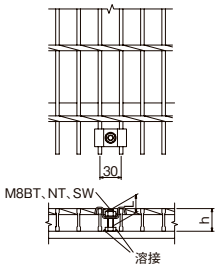
サドルクリップ（A）受梁貫通 H鋼・Lアングル用　AHタイプ



例 AH 19 625（フランジ厚__）
グレーチング高さ
ボルトサイズ・長さ 例）625-M6×25
納入図表中 t 又は T
AH：H鋼・Lアングル用
AC：溝形鋼用
発注時は、フランジ厚も記入してください。
記入例：AH19625（フランジ厚6）

型式記号	グレーチング高さ(H)	A	フランジ厚(t) 6	7	8	9	10	11	12	価格(円)
AH19625	19	13	M6×25	—	—	—	—	—	—	450
AH19630			—	M6×30					—	
AH19635			—	—	—	—	—	—	M6×35	
AH25830	25	16	M8×30	—	—	—	—	—	—	
AH25835			—	M8×35					—	
AH25840			—	—	—	—	—	—	M8×40	
AH32840	32		M8×40				—	—	—	
AH32845			—	—	—	—	M8×45			
AH38845	38		M8×45			—	—	—	—	
AH38850			—	—	—	M8×50				
AH44850	44		M8×50		—	—	—	—	—	
AH44855			—	—	M8×55					

サドルクリップ式（A）

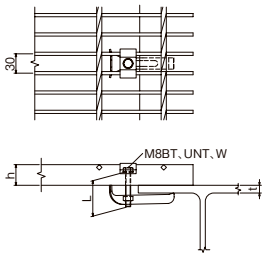


〈単位：mm〉

グレーチング高さ h	ボルト長さ L	価格(円)
19	16	300
25	18	
32	25	
38	30	
44	35	

※但し、h19 は M6 です。

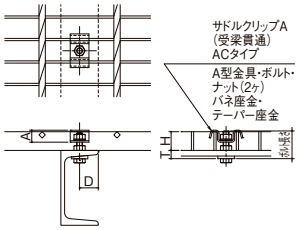
サドルクリップ式（C）



〈単位：mm〉

グレーチング高さ h	ボルト長さ L	梁のフランジ厚さ t	価格(円)
19	40	6～12	500
25	45		
32	55		
38	60		
44	65		

サドルクリップ（A）受梁貫通 溝型鋼用　ACタイプ



ボルト長さ

型式記号	グレーチング高さ(H)	A	フランジ厚＋テーパー座金(T) 10	11	12	13	14	15	16	価格(円)
AC19630	19	13	M6×30			—	—	—	—	500
AC19635			—	—	—	M6×35				
AC25835	25	16	M8×35				—	—	—	
AC25840			—	—	—	—	M8×40			
AC32840	32		M8×40		—	—	—	—	—	
AC32845			—	—	M8×45					
AC38845	38		M8×45	—	—	—	—	—	—	
AC38850			—	M8×50					—	
AC38855			—	—	—	—	—	—	M8×55	
AC44855	44		M8×55					—	—	
AC44860			—	—	—	—	—	M8×60		

フランジ厚＋テーパー座金

規格サイズ	端からの距離(D) 15	20	25	30	32.5	35	37.5
[-75×40×5×7	10	—	—	—	—	—	—
[-100×50×5×7.5	10	11	11	—	—	—	—
[-125×65×6×8	10	11	11	12	12	—	—
[-150×75×6.5×10	12	12	13	13	—	14	14
[-150×75×9×12.5	—	15	15	16	—	16	16

■サドルクリップC取付手順

①部品を確認する

②六角ボルトにワッシャを嵌めて、金具にセットします

③六角ボルトにUナットを取り付け、M型金具を先端部にスライドさせた状態にします

④サドルクリップCのフック部からグレーチングの開口部に挿入する

⑤90°回転しながら落とし込み、M型金具をベアリングバーに引っ掛ける

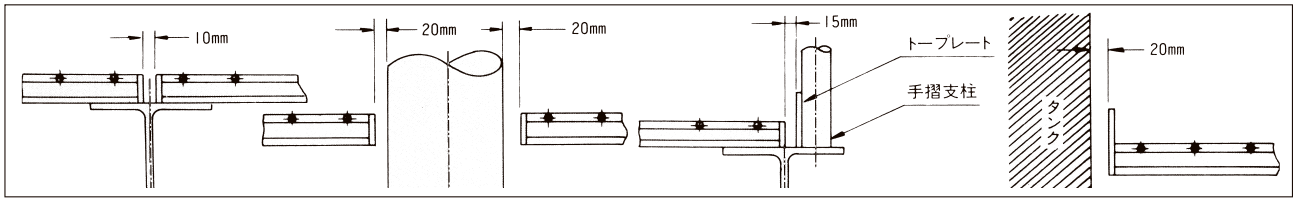
⑥H鋼の根元までサドルクリップCを完全に差し込む

⑦サドルクリップCが回転しない様にドライバー等で押えながらボルトを締め付ける

⑧取付け完了

動画

■取付関連寸法



●掲載価格には、消費税が含まれておりません。

詳細情報